

# 令和6年度第3回江丹別まちづくり推進協議会

と き 令和7年3月12日(水)  
午後1時30分  
ところ 江丹別公民館 講座室

## 1 開 会

## 2 議 事

- (1) 令和6年度江丹別まちづくり実行委員会事業報告及び収支報告について
- (2) 江丹別まちづくり推進プログラム・「市への要望・地域からの提案」について
- (3) その他

## 3 その他

## 4 閉 会

## 令和6年度江丹別まちづくり実行委員会事業報告

### 1 「江丹別の魅力PR推進事業」の事業内容

#### (1) 「ぐるっと江丹別魅力満載マップ」の改訂

- ① A3版, 両面カラー, 三つ折り
- ② 作成部数 4, 000部
- ③ 配置場所

- ・ 中央・拓北・富原等

江丹別市民交流センター, 江丹別郵便局, 廃棄物処分場, 旭川あらかわ牧場, とみはら自然の森, カウ&カーフ, チライ, アマン, そばの里江丹別, 江丹別若者の郷, 世界樹ILE, ジェスターズハウス, 江丹別の青いチーズ熟成所

- ・ 嵐山  
嵐山中央会館, 麺屋くるる, パークランド嵐山
- ・ 春日  
春日青少年の家
- ・ その他  
旭川観光物産情報センター, まちなか交流館

#### (2) 江丹別の魅力PRパネル展

- ① A1版サイズの5枚セットパネルの配置場所

パークランド嵐山 (夏の開園期間継続して展示), まちなか交流館 (他の展示のない時期に断続的に展示)

- ② A3版サイズの5枚セットパネル配置場所 (いずれも常設)

嵐山中央会館, 嵐山小中学校, 若者の郷 (若者センター, グリーンセンター), 廃棄物処分場, 春日青少年の家

#### (3) インターネットを活用した地域PR

平成29年度から継続し, 廉価なレンタルサーバ及び独自ドメインを活用し, 「江丹別 (そばとチーズのえたんべつ)」のホームページを公開。

#### (4) 江丹別通信の発行

6月, 9月, 12月, 3月の年4回発行。(A3版, 両面カラー, 二つ折り, 江丹別地域各戸配布)

### 2 「江丹別地域案内マップ作成事業」の事業内容

#### (1) 江丹別地域案内マップの作成

- ① A3版, 片面カラー
- ② 作成部数 3, 000部
- ③ 配置場所

- ・ 中央・拓北・富原等

江丹別市民交流センター, 江丹別郵便局, 廃棄物処分場, 旭川あらかわ牧場, とみはら自然の森, カウ&カーフ, チライ, アマン, そばの里江丹別, 江丹別若者の郷, 世界樹ILE, ジェスターズハウス, 江丹別の青いチーズ熟成所

- ・ 嵐山  
嵐山中央会館, 麺屋くるる, パークランド嵐山
- ・ 春日  
春日青少年の家

## 令和6年度江丹別まちづくり実行委員会収支報告

### 1 地域の魅力PR推進事業分

#### (1) 収入

内 容	科 目	収入額	備 考
1 地域まちづくり推進事業補助金			
旭川市からの補助金	補助金	160,000	
合 計		160,000	

#### (2) 支出

内 容	科 目	支出額	備 考
1 「ぐるっと江丹別魅力満載マップ」の改訂			
掲載内容の一部改訂・印刷（4,000部）	消耗印刷費	148,500	
2 インターネットを活用した地域PR			
レンタルサーバ年間利用料	通信運搬費	7,150	請求書発行手数料等含む
独自ドメイン登録料(1年間)	通信運搬費	3,340	請求書発行手数料等含む
合 計		158,990	

#### (3) 収入－支出

収入 160,000円 － 支出 158,990円 ＝ 1,010円 戻入

### 2 江丹別地域案内マップ作成事業分

#### (1) 収入

内 容	科 目	収入額	備 考
1 地域まちづくり推進事業補助金			
旭川市からの補助金	補助金	96,000	
合 計		96,000	

#### (2) 支出

内 容	科 目	支出額	備 考
1 江丹別地域案内マップの作成			
プリンタインク代	消耗印刷費	81,840	
印刷用紙代	消耗印刷費	11,275	
封筒代	消耗印刷費	1,144	
合 計		94,259	

#### (3) 収入－支出

収入 96,000円 － 支出 94,259円 ＝ 1,741円 戻入

## 09 江丹別まちづくり推進プログラム

### 地域目標

#### 安心・安全な暮らしの確保と地域の自立・活性化による 持続可能な農村地域づくり

※参考 都市計画マスタープラン  
(H29.2改訂)地域づくりの目標

・西地域  
～自然環境と調和し、地形を活かした良好な住環境づくり  
～豊かな自然をいかした定住環境づくり  
～農村と都市の交流による活力ある地域づくり  
～自然や歴史に抱かれた体験型レクリエーションの拠点づくり

### 1 地域の特性

- 旭川の北西に位置し、広大な面積の中で江丹別、嵐山、春日の3つの生活圏があり、周囲を小高い山に囲まれた自然豊かな地域
- 酪農、畜産、そばの栽培が盛んな農業地帯
- 夏冬の寒暖差が60度を超え、明瞭な四季を感じる事ができる。
- 住民同士のつながりは強く、外からの移住者にも暖かい地域性がある。
- 市内で唯一、山村振興法による振興山村地域に指定されている。

### 2 地域の基本情報

- 人口 248人 [15位]
- 世帯数 134世帯 [15位]
- 0～14歳人口 8.5% [13位]
- 15～64歳人口 45.5% [14位]
- 65歳以上人口 46.0% [2位]
- 町内会加入率 60.4% [8位]
- 町内会数 10町内会
- 市民委員会数 1地区  
(江丹別)
- 地域包括支援センター 1施設  
(神居・江丹別)
- 地区社会福祉協議会 1地区  
(江丹別)
- 民生委員・児童委員協議会 1地区  
(江丹別)

主な市有施設	市全域を対象とした施設	春日青少年の家、廃棄物処分場、中園廃棄物最終処分場
	主に地域住民を対象とした施設	江丹別支所、江丹別支所嵐山出張所、嵐山中央会館
	文化・スポーツ施設	嵐山レクリエーション施設、江丹別公民館、江丹別若者の郷
子育て育施設	小・中学校	江丹別小、嵐山小 江丹別中、嵐山中
	高校・大学 特別支援学校	
安全安心施設	警察署・消防署	
	消防団	第20・第21分団
	除雪センター	北星・江丹別
地域の特徴的な施設		旧神居古潭駅舎、とみはら自然の森

※ 人口～町内会加入率の数値は、令和6年4月1日現在

※ 順位は、15地域中で数値が大きいほうを上位とする

## 3 地域資源と特色のある取組

## ■ 地域資源

- 江丹別そば(そば打ち体験有り)(江丹別) ●肉加工品(ソーセージ等)(江丹別・嵐山) ●若者の郷(江丹別)
- 乳製品(チーズ、ソフトクリーム)(江丹別) ●優良田園住宅(嵐山) ●移住生活体験住宅(嵐山)
- 市営牧場(江丹別) ●とみはら自然の森(江丹別) ●嵐山公園(嵐山) ●パークランド嵐山(嵐山)
- 嵐山中央会館(嵐山) ●春日青少年の家(春日) ●旧神居古潭駅舎(春日) ●鳥田音楽堂(嵐山)
- 牧場体験(江丹別) ●民泊施設(江丹別) ●景観(そば畑、桜並木、紅葉、冬の樹氷)(江丹別・嵐山・春日)
- 寒さ(アメダス運用後の国内最低気温の公式記録)(江丹別)

## ■ 特色のある取組

- ウチダザリガニ防除体験・環境保全啓発活動(ウチダザリガニ防除隊)(江丹別・嵐山)
- そば打ち教室等を通じた江丹別そばの普及(江丹別公民館(江丹別)・若者の郷(江丹別))
- 「江丹別地域づくり推進プラン」の策定・推進(市民委員会・市)(江丹別・嵐山・春日)

## 4 地域の現状と課題解決のための取組・市への要望等

## ■ 福祉, 子育て, 健康づくり, 地域の支え合いの強化

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況	実施主体	備考	市への要望・地域からの提案
・高齢者の介護・医療・生活支援対策(全域)	・介護教室等の定例開催による地域での高齢者支援(全域)	○	地区社協・包括支援センター		・地域福祉拠点づくりへの支援
	・社協等による見守り事業の実施(全域)	○	地区社協・地区民児協		
	・高齢者世帯の除雪支援(全域)	○	地区社協		
・放課後児童等の居場所づくり(江丹別)	・放課後児童クラブ的なものの設置(江丹別)	○(R1~)	エタンベツ運営委員会		・活動に対する支援の継続
・地域の医療機関の存続(江丹別)	・診療所と連携し、通院の困難な高齢者等の送迎(江丹別)	○	市		・江丹別診療所の存続

## ■ 教育, 文化, スポーツ振興

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況	実施主体	備考	市への要望・地域からの提案
・小中学校の存続及び老朽化対策(江丹別・嵐山)	・移住者対策としての分譲地、借家等の設置(江丹別・嵐山)	○	事業者・地域		・優良田園住宅推進の支援→移住者対策のところに
	・江丹別・嵐山両小中学校の存続(江丹別・嵐山)	○	市		・江丹別・嵐山両小中学校の存続
	・江丹別小中学校の老朽化対策(江丹別)	—	市		・江丹別小中学校の老朽化対策
	・HP等による小規模学校教育の魅力発信(江丹別・嵐山)	—	地域		
・春日青少年の家の存続及び老朽化対策(春日)	・キャンプ施設としてのPR(春日)	—	地域		・春日青少年の家の存続, 老朽化対策

## ■ 地産地消, 商店街の振興, 魅力発信, 賑わいづくり

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況	実施主体	備考	市への要望・地域からの提案
・地域の魅力PR(全域)	・地域マップ、地域PRパネル展の開催、インターネットによる情報発信	○(H24~)	江丹別まちづくり実行委員会		
・農業の6次産業化推進及び江丹別ブランド品の創出(全域)	・農業体験、そば作り体験、農産加工品作り体験の実施、春日農村体験住宅の開設(全域)	○	地域・公民館・事業者		
・若者の郷の老朽化対策(江丹別)	・江丹別そば、江丹別の青いチーズ、ブルーチーズのブランド化及びそれに続く地域ブランドの創出(江丹別)	○	地域		
	・若者の郷の老朽化対策(江丹別)	—	市		・若者の郷施設の老朽化対策
・移住者対策(江丹別・嵐山)	・移住者対策としての分譲地、借家等の設置(嵐山・江丹別)	○	事業者・地域		・移住者対策の支援
	・新規就農者の斡旋及び支援	○	市		・優良田園住宅推進の支援 ・新規農業就業者の斡旋及び支援の継続

## ■ 基本的な生活環境の確保, 環境保全, 事故・犯罪の防止, 防災

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況	実施主体	備考	市への要望・地域からの提案
・地域生活維持に必要な施設等の存続(全域)	・既存店舗・スタンド・金融機関・郵便局・バス等の活用(江丹別・嵐山)	○	地域		
・鳥獣等の被害対策(全域)	・農産品の防除策の実施、鹿・アライグマ等の駆除(全域)	○	地域・市		・必要に応じた防除・駆除対策の実施
・生活環境の保全対策(全域)	・カメムシの駆除(全域)	—	地域・市		・害虫の駆除対策の実施及び支援
・融雪・大雨に備えた、河川・道路・排水路等の継続的整備(全域)	・河川・道路等の継続的維持管理(全域)	○	地域・市・道		・河川・道路・排水路等の継続的整備・補修
・防災対策(全域)	・防災体制の確立及び防災対策の実施(全域)	○	地域		・防災対策に対する支援
	・雪害対策のための積雪観測点の設置(江丹別)	—	気象庁		・積雪観測点設置の気象庁への要望
	・江丹別地域担当警察派出所駐在員の定期的巡回(全域)	○	警察署		
・オンコ並木の維持管理(江丹別)	・継続的な維持管理の実施(江丹別)	○	市		・維持管理の継続的実施

## ■ 郷土愛や誇りの醸成・コミュニティ活性化(世代間交流)

地域で認識している諸課題(地域の課題)	課題解決の取組・魅力づくり	実施状況	実施主体	備考	市への要望・地域からの提案
・高齢化の進展及び転出による人口減(全域)	・移住者対策としての分譲地、借家等の設置(嵐山・江丹別)	○	事業者・地域		
	・江丹別の魅力発信による移住者の創出(嵐山・江丹別)	○	地域		
・世代間交流(全域)	・公民館・学校・地域事業における世代間交流(嵐山・江丹別)	○	江丹別公民館・学校・地域		
・地域間交流(全域)	・3地域全体でのイベント実施(全域)	—			

## 5 過去の取組

実施年度	取組・テーマ	実施主体	主な内容
H24～	地域PRマップの作成・更新	江丹別まちづくり推進協議会・まちづくり実行委員会	江丹別地域の豊かな自然・癒しの景観，市民が気軽に訪れることのできる施設を紹介するマップを作成し，地域内外の施設に配置し，必要に応じて改定，増刷している。
H26～	地域魅力パネル展開催	江丹別まちづくり推進協議会・まちづくり実行委員会	江丹別の魅力を「観る(景観)」「食べる」「体験(レジャー)」「定住・移住」をモチーフに5種類のパネルを作成し，市内の様々な施設で展示を行っている。
H27～	花による魅力ある景観づくり	江丹別まちづくり推進協議会・まちづくり実行委員会	行楽に訪れる人や，道道を通過していく人達へ向け，住宅・施設の前や，沿道に，プランターに植栽した花を設置し，心をなごませる景観づくりを行っている。
H28～R4	地域の景観PR絵はがきの作成	江丹別まちづくり推進協議会・まちづくり実行委員会	江丹別の癒しの景観の写真を募集し，それを元に，毎年度6種類の絵はがきを作成し，地域の施設等に配置し，訪れた人々に自由に持ち帰ってもらっている。
H27	嵐山のコンサートホールでの演奏会	江丹別まちづくり推進協議会・まちづくり実行委員会	日本公演中のスイスのキッズジャズバンドを，嵐山の島田音楽堂に招き，演奏会を開催し，その前後の時間を利用して地域の子ども達との交流を行った。
H28～	江丹別通信の定期発行	江丹別まちづくり推進協議会・まちづくり実行委員会	それまでの「江丹別支所からのお知らせ」を発展させ，江丹別，嵐山，春日地区の住民組織，地区社協等の協力を得て，年4回，地域内全戸配布の，A3版，カラー印刷の広報紙を発行している。
H29～	インターネットによる情報発信	まちづくり実行委員会	廉価なレンタルサーバを活用し，江丹別の独自ドメインを取得し，「江丹別(そばとチーズのえたんべつ)」というホームページを開設し，江丹別の魅力・情報を随時発信している。 災害時の情報発信手段としての活用も予定している。
H30	防災に関する説明会	まちづくり実行委員会	市民委員会，学校，地区社協，民児協等の地域内各組織へ参加を呼びかけ，防災課による説明会を実施した。
R1～	放課後児童等の居場所づくり	エタンベツ運営委員会	江丹別市民交流センター等を活用し，児童等が安全・安心して過ごすことのできる放課後の居場所づくりを行った。
R3	江丹別をテーマに講演会開催	まちづくり実行委員会	「これからの江丹別について」をテーマに講演会を開催し，地域住民や近年移住した若者達が参加し交流を行った。
R5～	地域案内マップの作成	まちづくり実行委員会	江丹別地域の案内などのため，各施設の情報のあるホームページと連携するQRコードを掲載した情報マップを作成した。

## 6 地域まちづくり推進協議会の周知・広報

- 市ホームページ内の掲載及びまちづくり推進協議会NEWS（速報版）の地域内施設への掲示等により周知・広報を行っている。

・江丹別まちづくり推進協議会ホームページアドレス

<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/kurashi/408/machikyou/etanbetsu-machi-top.html>

・QRコード



各地域まちづくり推進プログラム 「市への要望・地域からの提案」に対する本市の考え方 (R6)

No.	地域	要望・提案事項	要望・提案の具体的内容	照会先 (部局名)	本市の考え方 (回答)
1	09江丹別	・江丹別診療所の存続	<p>江丹別地域はバスの便が悪く、市内中心部にある医療機関への通院は高齢者にとってはかなりの負担であり、唯一の医療機関である江丹別診療所の存続を継続してほしい。</p> <p>また、現在、市立病院本院の受診者データがオンラインで見えることもでき、「かかりつけ医」としての役割を持っていると思っているが、さらに、江丹別地区の全住民の健康データを集積することができれば、誰が医療機関を利用しても症状に対する迅速な対応が可能になるのではないかと考えている。(高齢者が地域で安心して生活できる保障があれば、将来を担ってくれる若者の定住化の促進にも繋がると考えている。)</p>	市立旭川病院	<p>市立病院としましては、公立病院として地域住民の安全安心な暮らしを支えていかなければならないと考えており、今後も江丹別診療所を継続して運営してまいります。</p>
2	09江丹別	・優良田園住宅推進の支援	<p>嵐山地区の優良田園住宅について、造成後20年程経過しているが、その利用は4区画であり、課題点を精査するなどし、結果に結びつく施策を実施してほしい。(周囲に散策路を設ける、パークランド嵐山まで繋がる散策路の整備等の工夫を行ったらどうだろうとの委員からの意見あり) 【継続要望の意向あり】</p>	地域振興部	<p>嵐山地区を含む江丹別地区に住宅を取得する際に交付する山村定住促進補助金制度を設けておりますことから、市外在住者からの移住相談や同制度の周知の時機を捉まえまして、優良田園住宅のPRを行ってまいります。</p> <p>また、嵐山地域町内会の方々と市で組織する旭川嵐山移住生活体験住宅運営協議会におきましても、優良田園住宅を含む嵐山地区への移住を促進するため、嵐山地区での移住体験ができる事業を進めているところであり、これらの取組を通じて、移住促進に努めてまいります。</p>

No.	地域	要望・提案事項	要望・提案の具体的内容	照会先 (部局名)	本市の考え方(回答)
3	09江丹別	・江丹別・嵐山両小中学校の存続, 老朽化対策	<p>江丹別・嵐山両小中学校ともに、小規模校であるため、廃止・統合の対象となっているが、地域としては存続を強く望んでいる。</p> <p>特に江丹別小中学校については、これから更に児童生徒の増加が予想されており、市内の隣の地域までの距離も遠く、学校の存続は不可欠である。</p> <p>同校は改築後50年近く経過しており、老朽化等の対策が必要となっている。</p> <p>特に厳冬期の校舎の暖房対策が喫緊の課題となっており、校舎2階の廊下の窓は、木質サッシの一重窓で、厳冬期には、外気が-25℃以下になることが常にあるため、廊下が日常的にマイナスになることが多々あり、木枠にビニールを張り、それを木製サッシの内側にはめ込んで応急対策をしているが、10枚以上の窓枠を秋に取り付け、春に取り外す作業は困難を極めている。しかも木枠やビニールは2年ほどしか持たず、そのたびに修復や張替え作業を強いられている。</p> <p>また、生徒玄関入口も一重のサッシで-10℃以下になることも常にあるほか、廊下と隔てている風除室の木製サッシも改築後の一重のままとなっている。</p> <p>そのための具体的な防寒対策として、2階廊下・生徒玄関、風除室の二重窓化を早急をお願いしたい。</p> <p>江丹別小中学校は、更なる児童生徒の増加が予想されていることから、児童生徒が安心して学校生活を送ることのできるような対策を講じてほしい。</p>	学校教育部	<p>嵐山小学校及び嵐山中学校については、児童生徒が減少したことから、保護者や地域の御意見を確認し、令和7年3月31日をもって閉校することとしたところです。</p> <p>江丹別小学校及び中学校は、「旭川市立小・中学校適正配置計画(令和2年3月改訂)」において、統廃合の対象校としておりますが、統廃合については、保護者や地域の意向を確認しながら、十分に協議をしまいいりたいと考えています。</p> <p>江丹別小学校及び江丹別中学校の校舎については、これまでも必要に応じて修繕を行っており、防寒対策等についても調査の上、今後も引き続き維持管理に努めてまいります。</p>
4	09江丹別	・春日青少年の家の存続, 老朽化対策	<p>春日小学校廃校時に地域との約束において、春日青少年の家として存続している施設であり、グラウンドがキャンプ場として利用されており、存続及び老朽化対策を講じてほしい。</p> <p>また、災害時の地域の避難所としての役割も期待できる。(現在、春日地域の避難所として、台場小学校が指定されているが、石狩川を渡る必要があり、現実的ではないという意見がある。)</p> <p>【継続要望の意向あり】</p>	子育て支援部	<p>平成19年度行政評価により、「他の類似施設の整備状況等を考慮し、廃止を検討すること」との最終評価があったことを受け、地域住民に対して、廃止に向けた市の考え方を説明するとともに、廃止後の施設の活用策についても協議を行った結果、建物は可能な限り使用し、今後、大幅な修繕が生じた場合には廃止することで、平成30年5月に春日地区振興会会長の了承を得ています。</p>

No.	地域	要望・提案事項	要望・提案の具体的内容	照会先 (部局名)	本市の考え方(回答)
5	09江丹別	・移住者対策の支援	人口減少が年々進む中、移住者対策の支援を望む。【継続要望の意向あり】	地域振興部	山村定住促進補助金をはじめとした住宅取得支援制度、令和元年度から行っている首都圏等からの移住者に対する支援制度のほか、令和6年度からは、上川圏域外から移住し、市内で就職等を行った方を対象とした旭川市独自の移住支援制度の運用を開始しているところです。 今後におきましても、移住を検討されている方が希望する暮らしの実現のため、サポート体制の充実に努めてまいります。
6	09江丹別	・新規農業就業者の斡旋及び支援	農業者でない者が新規農業者となるためには、資格・資金等多くの課題があり、それを支援するための窓口(単なる相談窓口ではなく、就農に至るまでをフォローアップするような窓口)が必要。【継続要望の意向あり】	農政部	新規就農者の支援につきましては、地域を問わず旭川市内全域を対象として、就農相談から研修受入農家のあっせん、農地の確保等の就農準備、そして就農後においては経営全般にわたるフォローアップ等、就農までの各段階に応じた支援を行っております。 また、資金面では、研修期間や営農開始間もない時期を支える国の新規就農者育成総合対策による資金の活用や、市独自に研修期間中の家賃助成や営農開始から4年目以降に経営を発展させるために必要な機械設備等の導入費用の一部を助成する支援を行っております。
7	09江丹別	・必要に応じた鳥獣等の防除・駆除対策の実施	カラス、キツネ、タヌキ、アライグマ、鹿の農作物の被害対策を講じてほしい。【継続要望の意向あり】	農政部	本市の獣害対策は、「旭川市鳥獣被害防止計画」に基づき実施しております。 アライグマの対策は、被害のある農業者に無償で箱わなを貸し出し、農業者自身が捕獲従事者となることで、効果的かつ効率的な駆除を推進しており、捕獲した個体については市が回収し、殺処分しております。 また、キツネ及びエゾシカの対策としては、地元猟友会会員を隊員とした旭川市鳥獣被害対策実施隊による銃器やわなによる捕獲及び冬期の一斉捕獲により、被害軽減と個体数の適正管理に努めているところです。 その他の鳥獣による農業被害に対しましても、関係機関と連携した対策を継続するとともに、自己防衛の取組拡大への支援につきましても推進してまいりたいと考えておりますので、鳥獣による農業被害が見られましたら、農業振興課まで御連絡をいただければと思います。
8	09江丹別	・害虫の駆除対策の実施及び支援	カメムシが夏季に大量発生するなど生活環境の悪化に大きく影響し、防除費用等への負担も大きいことから、防除するための薬剤散布の実施や支援する制度など必要な対策を講じてほしい。【継続要望の意向あり】	保健所 環境部	(保健所) (環境部) カメムシなどの害虫を駆除するための薬剤散布は、保健所及び環境部では行っておりません。 生活環境の悪化等お困りの場合は、民間の害虫駆除業者等に御相談いただくよう御案内しております。

No.	地域	要望・提案事項	要望・提案の具体的内容	照会先 (部局名)	本市の考え方(回答)
9	09江丹別	・防災対策に対する支援	近年の異常気象により、水害の被害が発生しており、災害が発生した際の支援を望む。【継続要望の意向あり】	防災安全部 保健所	(防災安全部) 本市の災害予防や応急対策、復旧などの一連の災害対策については、旭川市地域防災計画の中で体系的に定めており、災害が発生した場合は、同計画に基づき、情報発信や避難支援等の応急対策を行っております。 また、「旭川市避難マニュアル(市民用)」をもとに、市民の自主的な避難判断や避難行動の普及啓発に努めているところです。 今後も地域の皆様と連携を図りながら、災害に強いまちづくりを進めてまいりたいと思います。 (保健所) 保健所では、災害によって浸水被害に遭われた住居等に対する消毒(薬剤散布)を無料で行っております。申請方法等については御相談ください。(災害による浸水被害の場合、消毒にかかる手数料は免除となっております。)
10	09江丹別	・積雪観測点設置の気象庁への要望	冬期間における雪害対策上、積雪情報は重要である。 近年は幌加内町に匹敵すると思われる積雪があるものの、アメダス観測点が積雪量の計測を行っていないことから、具体的な積雪量が分からないため、積雪についての観測も行ってほしい。 (気象庁によらず、市独自に設置して観測してはどうかとの委員意見あり。【継続要望の意向あり】)	防災安全部	旭川地方気象台に確認したところ、「江丹別観測地点において積雪の観測を行うことは難しいが、気象予測については、江丹別地域を含めた大気の状態を予測している。」との回答を得ております。 (積雪の観測を含む気象予測等は、気象庁が行うことで効果が得られることから、市独自の観測機設置や運用は検討しておりません。)
11	09江丹別	・オンコ並木の維持管理の継続的実施	江丹別の出身者の寄贈により造成されたオンコ並木について、継続的に維持管理を行ってほしい。【継続要望の意向あり】	農政部	オンコ並木(イチイ並木)については、引き続き、並木の適正管理(せん定・抜根等)に努めてまいります。
12	09江丹別	・放課後児童等の居場所づくりへの活動に対する支援の継続	令和元年度から地元関係者が設置した運営委員会により放課後児童クラブ的なものが活動・運営されているが、今後もその活動に対する財政的、人的支援を継続してほしい。【継続要望の意向あり】	子育て支援部	放課後子供教室(エタンベツ)につきましては、江丹別小中学校の児童を対象に事業開始の令和元年度から週5日体制での実施を継続しております。 今後につきましても、地域の要望を伺いながら、継続的な運営、実施について検討してまいります。
13	09江丹別	・融雪・大雨に備えた河川・道路・排水路等の継続的整備・補修	地形上道路が川沿いを通ることが多く、大雨等による河川の増水による氾濫や道路の通行支障、通行止めは、地域の移動方法の確保及び非常時の避難に大きな影響を与えるので、今後も継続して河川・道路の整備を実施してほしい。【継続要望の意向あり】	土木部	旭川市が管理する道路及び河川につきましては、利用状況や現地状況を確認し、状態が悪く、整備の緊急性が高いと判断される箇所から、順次整備を実施しておりますので、今後も状況把握に努めてまいります。 また、北海道が管理している道路及び河川についても、旭川市から北海道に対して整備等に関する要望を継続的に行ってまいります。

# 地域まちづくり推進協議会の在り方について

R6 市民生活部地域活動推進課

## 1 まち協とは？

### 【設置の経緯】

地域では、町内会や市民委員会などの様々な地域活動団体の取組によって住民の暮らしが守られていますが、各団体では役員の高齢化、担い手の不足や町内会加入率低下など、全国的に見ても共通した、長年の課題が見られます。

地域活動団体の担い手不足に関しては、ひとりの人物が複数の団体の担い手を引き受け、さらに役員を引き受けることで大きな負担となるなど、深刻な課題となっています。

このため、地域住民等が地域の課題を共有し、その解決に向けた方策を検討するとともに、相互に連携しながら、地域特性を生かした個性ある多様なまちづくりを推進していくため、地域まちづくり推進協議会（以下 まち協）を設置しました。

### 【役割】

(1)地域のまちづくりの推進に関すること。

(2)地域のまちづくりの支援に関すること。

(3)その他市長が必要と認めること。

これらの事項について検討し、並びに意見を交換する。

## 2 まち協の歴史

まち協は、平成22年度に支所地域、平成24年度に本庁地域に設置され、当初は、まち協自身で補助金を受け取り、まち協自身が事業を行うことができました。

### ①意見聴取

### ②審議・意見のとりまとめ

### ③事業の企画・実行

しかし、平成30年度より市設置の懇談会（意見聴取の場）となり、まち協自身では事業ができず、事業を行う際には実行委員会を立ち上げなくてはならなくなりました。

### ①意見聴取

## 3 それぞれの課題認識

### ①【市】

「地域主導の取組になりづらい」

「構成団体を地域で選ぶこと不可」

～まち協が懇談会となったことで～

「事業実施時に実行委員会が必要となり、組織が複雑化する」

「懇談会は意見聴取の場であり、何かを決定することができない」

### ②【地域】地域活動の担い手不足が進行、負担感が大きい

## 4 令和4年度「委員向けアンケート」

前述のような課題に対して、市としてどのように対応すべきか、まち協をどのような形にすれば、より良く活動しやすい体制になるのか、国内全体の流れが「まち協」から「地域運営組織」へと変わってきたことから、今後の組織の在り方を含めて検討するため、令和4年度に「委員向けアンケート」を行いました。

調査期間：令和4年5月中旬から7月下旬

調査対象：全15地域まちづくり推進協議会委員 241人

回答率：82.6%（241人中、199人から回答あり）

### 【結果概要】

#### (1) 質問：回答者の年齢は？

「70歳以上」が48.2%、「60歳代」が21.6%で、約7割が60歳代以上となっています。

#### (2) 質問：回答者の所属団体はどこ？

「地縁団体（市民委員会など）が46.2%、次いで「福祉団体（子ども、高齢者含む）」が19.6%となっています。

#### (3) 質問：回答者が地域活動に参加する目的は何か？（複数回答）

「地域貢献（課題の解決、活性化）」が188人で94.5%、「自分の知識や経験を生かしたい」が73人で37%、「仲間づくり」が64人で32.1%で、地域へ貢献したいという思いが強そうです。

#### (4) 質問：地域活動を実施する上での課題・問題点と思うものはなんだと思うか？（複数回答）

「担い手不足」が168人で84.4%、次いで「情報・ノウハウ不足」が75人で37.7%、「活動資金不足」が50人で25%で、**担い手不足の問題は、市の課題認識と一致しています。**

#### (5) 質問：地域まちづくりを地域が担うメリットはなんだと思うか？（複数回答）

「住民ニーズに応じたきめ細やかな対応が可能」「住民同士の親睦が深まる」がともに145人で72.9%でした。また、地域まちづくりの取組について、市より地域が関わることによるメリットが生かされる分野としては、「福祉（高齢者中心）」が134人で67.3%、「交流イベント」が126人で63.3%、「防災、防火」「福祉（子ども中心）」「交通安全、防犯」「環境美化」が100人前後で約50%となっています。

#### (6) 質問：地域まちづくりの進め方（現在と将来）として望ましい姿は何か？

現在の姿は「市と地域が役割分担し協働で取組んでいる」が121人で60.8%、将来では146人の73.4%が、「市の関与を望んでいる」結果となりました。

#### (7) 質問：まち協に関わる取組の成果はどのような感じか？（継続委員のみ回答）

「地域課題の解決や地域の活性化」が82人で41.2%、「他団体との情報共有」が70人で35.2%、「行政との情報共有」が64人で23.1%、「地域活動の充実」が56人、「地域活動に対する住民意識の向上」が55人で共に20%となっています。※%は回答数より算出

#### (8) 質問：まち協に関わる取組の問題点は何か？（継続委員のみ回答）

「住民の認知度向上」が105人で55.5%、「活動の活性化（マンネリ化・地域に必要な活動につながっていないなど）」が81人で42.8%、「運営の効率化（会議が多い・まち協と実行委員会があり複雑など）」が44人で23.2%で、**運営の効率化は、市の課題認識と一致しています。** ※%は回答数より算出

#### (9) その他、まちづくり全般【自由記載】

複数の回答があったもの：「活動・意見交換の活性化」「若者の参画」「地域負担軽減」

「団体間の連携・情報共有の必要性」「情報発信力の強化」など

裏面へ

## 5 令和5年度「委員との意見交換」

類似意見は、まとめさせていただきました

令和4年度のアンケート結果を受け、まち協の将来像を検討するに当たり、まち協組織を市の懇談会ではなく地域が自主的に設置し運営する組織（地域運営組織など）へ切り替える選択肢を含めて、地域にとってより活動しやすい組織体制の在り方について、「委員との意見交換」を行いました。  
※太字は、特に多かった意見

### 1 組織の在り方に関して

- ・ 根本的な部分は、現在のまち協のままで良いのではないか
- ・ 現在まち協に加わっていない組織（NPOなど）の力を借りられないか
- ・ 目的に応じて参加者、地域割を変えても良いのではないか
- ・ 煩雑に活動するのではなく、負担軽減のため無駄なく活動すべきでないか
- ・ 組織を変えるのではなく、組織に合わせた柔軟なルールで考えていくべき

### 2 担い手不足軽減

- ・ 現役世代は多忙であり、地域活動のための組織に入ってくることはないのではないか
- ・ どうすれば若い世代を加える（地域活動の担い手として育成する）ことができるか
- ・ 委員入れ替え時、任期を設ければどうか

### 3 まち協の運営について

- ・ 会議の場で、発言しにくい時がある
- ・ 固定的な内容でなく、様々なことを自由に話あえるようにしたい
- ・ 地域運営組織となった際、事務負担が心配だ
- ・ 市の懇談会で弊害が出ているのなら、市が現行のルールを変更すれば良いのでは
- ・ コーディネーターを設置し、コーディネーターが中心となり運営してはどうか
- ・ 地域と市が、協働で進める部分があっても良いのではないか
- ・ 活動する上で、さらなる補助金が必要である
- ・ SNS、WEB会議などを駆使してはどうか
- ・ 今後、運営を地域に任せられた場合、誰がまとめてどう組織するか懸念される

### 4 エリア割について

- ・ 別地区（市民委員会）のことには、関係なく思えて意見しにくいのではないかと
- ・ もう少し小さな区割りの方が良い（中学校区など）と思う

### 5 情報発信

- ・ まち協のPRに力を入れて、認知度を向上させて欲しい
- ・ 町内会未加入者の情報取得手段について検討すべきだ

### 6 その他

- ・ 現時点で、説明にあった地域ビジネスなどを想定した地域運営組織設立は、大きな負担になる（設立できると思えない）
- ・ 地域活動に参加した人には、経済的メリットがあるようにできないか
- ・ 新たな組織についての意見交換をするなら、しっかり時間を取るべき
- ・ 様々な団体が取り組んでいる事業の統廃合が必要だ
- ・ 事業などを、客観的に評価する仕組みをつくるべきではないか
- ・ 春光台地域は、地域が運営している公民館が事務局を担っているのだから、市の懇談会という認識はない
- ・ 永山はまち協が出来た当初から、前向きに捉えており、やらされ感はない

## 6 ここまでの内容のまとめ

令和4年度のアンケート、5年度の意見交換の結果、市が課題として認識していた「担い手不足」「複雑化」については、地域と同じ認識でしたが、その他、地域が考える課題は、若者の参画、地域負担の軽減などでした。また、地域が自主的に設置し運営する組織への変更を求める声は多くありませんでした。

- ・ **現まち協について見直しすべきといった声もあるが、別組織への移行を求めるほどのものではない**
- ・ **新たな担い手を確保したい**
- ・ **様々なことを検討できる仕組みが必要**
- ・ **まち協の知名度を向上させるべき**

## 7 今後の進め方

昨年度までは、現在の市の懇談会の仕組みから、地域主体の組織づくり、例えば地域運営組織への移行も視野に、アンケートや皆様との意見交換を行ってまいりました。

その結果を踏まえますと、別組織への拙速な転換は難しく、一方で現状の仕組みにも課題があると認識しているところであります。

今後につきましては、明らかになった課題を解決すべく、地域主体の組織づくりを視野に入れながら、担い手不足や負担感という同じ課題を持つ、町内会や市民委員会などを含め、地域コミュニティの全体像を整理する中で、引き続き検討を進めてまいりたいと考えております。

検討に当たりましては、今後とも、皆様からご意見を伺うこともありますので、その際はご協力のほど、よろしくお願いいたします。

旭川市役所地域活動推進課

TEL：25 - 6357

e-mail:chiikikatsudo@city.asahikawa.lg.jp

e-mail  
二次元コード



旭川市役所地域活動推進課 地域活動推進課 地域活動推進課 地域活動推進課